



おもちゃ箱つだぬま 事業者における放課後等デイサービス自己評価結果

公開日：2026年3月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		時間を延ばし、2階を使用して活動を行っている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	子どもが集中しやすい机やイスの配置を心掛けている	クールダウンの部屋を整理して設置していきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を心掛けている。当日の子ども、活動に合わせて環境を設定している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		現状、事業所の間取りにより難しいが、子どもが過ごせるような物の配置の工夫をしたい
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	毎月のMTGをしている	引き続きMTGで共有をしていきたい
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		モニタリング、LINE、送迎時に話している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		LINEや朝のMTGで確認している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者評価からの結果を明確化し、議題を整理した上で改善に努めていきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	数回、講師を呼んだりオンラインで実施している	定期的な発達・支援についての研修を行っていきたい
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	作成されたものを職員で共有している	引き続き支援プログラムの作成・公表体制を整えていく
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全体MTGや支援計画原案を回すなどして理解に努めている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	送迎時、モニタリング、LINEで共有している	ツールを決めて支援を行ってきたい
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		本人の希望を反映する時に移行へも力を入れている。地域での活動、買い物、外食を実施	地域のお店と連携して企画していきたい(発達や地域理解)
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	職員それぞれの得意分野でプログラムを組んでいる	主にその日のリーダーが活動プログラムを組んでいるため、定期的に話し合いができる場を設けていきたい
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	毎日活動のリーダーを変えている	引き続き内容の充実を図ってきたい
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝のMTGでの共有を心掛けている	引き続き打ち合わせの時間を確保し、チームでの連携を強化していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	時間は限られるが、必要事項はLINEで共有している	振り返りの強化を行ってきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	記録を取り、LINEで共有。朝のMTGで検証している	引き続き記録を活用して支援の改善につなげていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1		地域との交流が少ないため、散歩や買い物体験を通して地域との関わりを増やしていきたい
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動前に確認する時に工夫している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		相談支援員とのモニタリング、学校訪問等を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要な時に連携している	引き続き医療機関との連携を図ってきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者を通し、月間予定表をもらっている。必要に応じて学校と連携をとっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保護者からの要望やこちらからの働きかけで、幼稚園等へ見学し情報共有を行っている	子どもや保護者のニーズに合わせてこちらから働きかけていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		該当者がいないが、情報としてお伝えできるようにしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	直接は難しいこともあり、保護者からお聞きしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	直接的ではないが地域の公園・買い物・外食等に行っている。	交流できる企画を模索していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		機会があれば見聞を広げたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		電話連絡や直接話すことで理解を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族参加の企画を開催。座談会を一度実施。	事前に日程を決めて、定期的に行ってほしい(保護者目線の企画)
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリング以外にも、都度LINE、送迎等で助言など行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	一度だけ希望者のみ実施	年数回活動参観、保護者会を行ってほしい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		LINE等使い対応している	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	夏休み等は事前に告知している	情報発信の機会を増やし、周知を強化していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	招待はしていないが、ボランティアをお呼びしたり、地域へ買い物支援をしている	参加可能な企画をしていきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	各マニュアルを会社単位で作成している	家族参加を周知し実施していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	月1回で活動計画に組み込んでいる	引き続き月に1回は行い、職員だけでも動きを定期的に確認していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	おやつの記事、内容のダブルチェックをしている。保護者からの同意書も得ている。	引き続き医師の指示書に沿った対応体制を整えていきたい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画の取組内容を保護者に周知し、連携を図っていきたい
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		必ずヒヤリハットのフィードバックを実施、改善している		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社内研修を行っている		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3		現在行う児童がいないが、認識の上で対応していく。	